

平成21年度

沖縄県 粟国村勢要覧

大洋の中に豊かな暮らしと文化を築く粟国



むんじゅるの里 あぐに



発刊によせて



粟国村長
新城 静 喜

粟国村は那覇市の北西約60kmの洋上に位置し、面積7.64km平方、周囲約12km程の島で一島一村で成り立っています。

「ナビィの恋」のロケ地として、また雑踊りの傑作「ムンジュル節」の発祥地としても知られています。

近年、住環境が大きく改善されたほか、土地基盤整備事業によって農業形態も変化しています。黒糖だけでなく、モチキビや粟などの農産品や、豊かな海の産物である自然海塩といった特産品も品数が増えてきました。

現在、村を取り巻く状況は逼迫した財政事情や少子高齢化、過疎など問題も山積しております。そのような厳しい状況下ではありますが、引き続き先人が築き上げてきた独自の文化を大切にしつつ「豊かで活力に満ちた村づくり」に取り組んでまいります。

この要覧は、村の状況を写真や資料で紹介しておりますが、本村をご理解していただく上で少しでもお役に立てば幸いです。

平成21年4月



目次

発刊に寄せて	2
地勢	4
名所・旧跡・文化遺産	6
伝統行事	8
特産品	9
産業	10
環境(上水道, 下水道)	14
交通	15
治安・消防・防災	16
電気・通信・郵便	17
医療・福祉・保健	18
教育	20
行政	22
村章・村木・村花・村花木・村歌	24
資料編	25

地勢

位置

粟国村は、那覇の北西約60kmの海上、東経127度13分、北緯26度34分に位置する1島1村で周囲約12km、面積7.64km²を有しています。東方に沖縄本島、南に慶良間諸島、渡名喜島と並び南西に久米島が遠望できます。



地形

西側が高く絶壁で東に向かって次第に低くなっていきます。遠くからみると、巨大なクサビのように見えます。西側が高くなったわけは、もともと西側に陸地があったこと、陸地が広がったときに、西側ほど大きく隆起したことによります。その隆起運動で出来た断層が筆ん崎から西集落にみられます。字西御願の植物群落のところにある北東—南西方向の崖は、このような断層によって地面がずれてできたものです。島の北西側から筆ん崎をまわって粟国港にかけての南海岸に見られる崖を海食崖といいます。海食崖は海水の侵食作用によってできたもので、削られて平らになった部分を波食台といいます。洞寺の北側では海食崖が陸地の中に出来ていて、これは昔できた海食崖がその後の地殻変動で隆起して陸地になったものです。字浜と字東の間に、南西—北東に伸びた地形の高まりは、昔この地帯がまだ海であった時代のリーフの跡だと考えられます。東海岸のウーグには高さが15mほどの砂丘が発達していますが、これは風によって海から有孔虫などの砂が運ばれて堆積したものです。





島の西側よりマハナを望む

地層・岩石

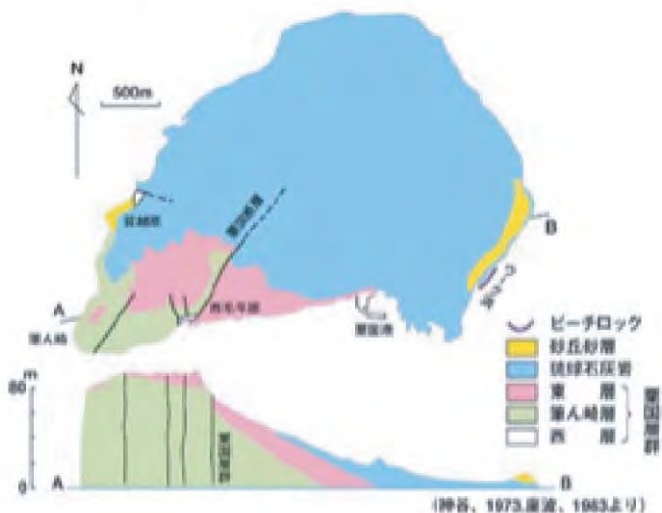
筆ん崎付近から栗国港にかけての島の南西部に分布する地層(岩石)は、火山の噴火によってできたものです。筆ん崎の北北東約1kmの皆越原の海岸にはデイサイト(石英安山岩)があり、これは島で最も古い岩石です。西毛平原の海岸から栗国港にかけては玄武岩、安山岩、凝灰岩、及び凝灰角礫岩が広く分布しています。また筆ん崎付近には白色凝灰岩と凝灰角礫岩が広く分布している。白色凝灰岩には木の葉の化石や巻き貝の化石、ときには火山豆石なども含まれ、凝灰角礫岩には真珠岩という珍しい岩石の礫も見られます。島を広く覆って分布しているのは琉球石灰岩です。琉球石灰岩は、有孔虫の多い砂質石灰岩の部分とサンゴ化石の多いサンゴ石灰岩に分けられます。

島の東海岸にはビーチロックが分布し、厚さ1.5m程度のビーチロックは緩く海に傾斜し塊状のサンゴやシャコ貝片を多く含んでいます。



島の南側・トゥマイ小付近の地形

栗国島の地層・岩石



土質

主なものが珊瑚石灰岩(島尻マージ)、西方高台の一部が安山岩土壌(国頭マージ)となっています。また東側の海岸に面した耕地は海成沖積(カニク)となっています。

名所・旧跡・文化遺産



①マハナ

洋上から望む粟国島の南西側には、英国にある白亜の崖を彷彿させるような地形が見ることができます。この島の人はこの柔らかい岩質である凝灰岩を巧みに利用し、トゥージ(チューディ)と呼ぶ水溜^{ついで}や終の住処まで作り上げました。厳しい自然環境ながら、たくましく生きた先人の知恵が今も島の各所に見受けられます。



⑤洞寺 200年以上前に渡島した雲水が終生暮らした場所です。(山門の奥には鍾乳洞があります。)



⑬長浜ビーチ



① 番屋原の広場景勝地
(村指定・名勝/昭和59年9月14日)



② 番屋塚
(村指定・史跡/昭和59年9月14日)



③ 松尾御嶽のイタジイの木
(村指定・天然記念物/昭和59年9月14日)



④ 宇西の御願の植物群落
(県指定・天然記念物/昭和55年4月30日)



⑤ 坂木那原海岸景勝地
(村指定・名勝/昭和59年9月14日)



⑥ 照喜名原のモンパの木群落
(村指定・天然記念物/昭和59年9月14日)



⑦ 彫り込み墓
※柔らかな凝灰岩地質を利用した粟国独特の墓です。



⑧ 大正池
※大正天皇を即位して作られました。
(平成12年改修)



⑨ イビガナシー(イエーウフナカ)
※旧暦6月に行われる島最大の祭事「ヤガンウユミ」の中心祭場です。



⑩ ヤヒジャ(ヤヒダ)
※大規模な凝灰岩の地層が見られるのは沖繩では粟国島だけです。



⑪ ヤマトウガー(西・東)
※戦後の高等弁務官資金で作ったタンクです。
これにより島の水事情が大きく変わりました。



⑫ トウマイ小
※昭和30年代まで舟揚場として使用されていた場所です。



⑬ ハンガー
※この付近では、海岸の岩場の窪みを利用して自家製の塩が作られました。



⑭ 観音堂
※約300年以前に作成され種子を意味する梵字を刻んだ碑があります。



⑮ ボージャー
※200年以上前に渡島した雲水が最初に島を踏んだ地から地名がついています。



⑯ トウジ(チューディ)
※凝灰岩で作成、その大小と数が経済力を示します。(村内各所)



⑰ ボージャー近くの遊歩道

伝統行事

先人の偉業を讃え、島の発展を願う古式行事

マースヤー

(旧大晦日～旧元旦)

11ある原や組毎に地域内の各家々を練り歩いて歌や踊りで無病息災と豊穡を祈る。

フナウクシ (旧暦正月2日)

各船主の家において、1年の航海安全と大漁祈願を行なう。

ウクシ (旧暦正月3日)

アギ(西、東地区)は各原毎に、浜地区は地区内の組合同で行う。その日は庭へ撒く白砂をとりに行く習慣がある。

ハーリー

(旧暦5月4日)

水産業を振興し、航海及び操業安全と大漁を祈願する。

島ウガン

(旧暦5月15日)

栗国村の伝統行事の一つで、宮の前に各原が集まり、供物をお供えし祝女と共に村民の健康を祈願する。

粟シチュマ

(旧暦5月下旬壬日)

粟のご飯を作り祖先に粟の豊作を願った日。翌日は牧童の慰安日とされていた。

ヤガン折目 (ウユミ)

(旧暦6月24日～26日)

3日間行われる島最大の祭祀で、1日目の山のお神迎え。2日目の火の神マチー、ナーヌウユウェー、3日目は一般も参加でき健康祈願等がなされる。

グーシー

(旧暦9月1日、15日)

1日は浜地区を中心に、15日はアギと呼ぶ西東地区を中心に行われる。照喜名原にある門中の選擇所や本家の神棚に手を合わせる。

カママーイ

(旧暦10月1日)

火災予防のために行われたものが始まりだが、各家庭の伸びすぎた樹木の枝を伐採できる日にもなっている。



マースヤー



マースヤー



ウクシ



マースヤー



ウクシ



ヤガン折目



特産品

好評を得る粟国の特産品 特産品の一部は毎年開催される「離島フェア」にも出品され、好評を得ています。



自然海塩「粟国の塩」

島の周囲から汲み上げた海水を、立体式塩田タワーの中で竹の枝を伝わせて、風や太陽熱で濃縮、更に平釜で結晶させて20日以上かけて作ったミネラル分豊富な自然海塩です。



にがり

釜炊き塩を作る時にできるにがりは、100g当たりマグネシウム7000mgを含む昔ながらのにがりです。



自然海塩「粟国の島マース」

燃料には廃油を利用しエコで、かつカルシウム含有量の多さが特徴です。



海ぶどう

観光客を中心に人気の高い海ぶどうが一部で養殖されています。



黒糖

粟国で育ったサトウキビを煮つめて造ります。沖縄で唯一の直火焚き製造ですから、風味が一段と引き立ちます。カルシウムをはじめとしたミネラルや、ビタミンB1、B2などが含まれています。



粟国生なり糖

「さとうきびのピス(内部のみ)を搾汁し製糖したもので、さとうきびが成長するのに必要なミネラルが砂糖水に溶け、そのまま残されており、高濃度カリウム、バランスの良いカルシウムとマグネシウム、そして天然の風味が特徴です。

粟国生なり糖

シロップ

さとうきびが大地から吸い上げたミネラル水ともども絞ってそっくりそのままトレットパック!外部から一切水を加えていないのが特徴。



モチキビ

お米に混ぜて炊いてください。もちもちした食感が楽しめます。雑穀は最近見直されています。



ささげ

赤飯・ようかん・ぜんざいに幅広くご利用いただけます。あかまーみの独特な香りをお楽しみください。



もちきびかりんとう

粟国特産のもちきびと黒糖を活用して開発した手作り製品です。体にやさしく、形や味は素朴さが特徴です。



ようかん

粟国でとれるあかまーみ(小豆)を原料に、真心込めて仕上げました。甘さもほど良く、うなずける逸品です。



ソテツみそ

島で豊富にとれるソテツの実を使った独特の手作り味噌で、鉄分を多く含んでいます。

産業

土地基盤整備事業

旧来の地割制度では行えなかった機械化が可能になったことで、農耕形態も変わりつつあります。

平成5年

土地改良総合整備事業金附名地区／33.8ヘクタール



平成8年

団体営ほ場整備事業栗飼地区／25.6ヘクタール



平成17年

土地改良総合整備事業四志地区／42.3ヘクタール



現在整備中

県営寄草地区 I期／36ヘクタール II期／28ヘクタール



農畜産物集出荷貯蔵施設

マージン(モチキビ)など、島の特産品に大きく貢献している施設です。

日量2tのもちきび製品製造プラントのほか、玉ねぎ乾燥機、選別機、保冷庫が備わっています。

【施設の概要】

名称……農畜産物集出荷貯蔵施設

場所……栗国村 謝花原地内

面積……敷地／993m²、建物／637.5m²



施設の外観



施設の内部

製糖工場

県内で唯一の直火だき製法が行なわれている工場です。

栗国村字東謝花原地内
処理能力……日産30トン
昭和60年2月より操業



さとうきびの総合利用による 新商品開発・さとうきび生産振興及び地域経済化の活性化

県・サトウキビ実証プラント

平成15年度に沖縄におけるサトウキビの総合利用を図るため、ケーンセパレーションシステム(CSS)プラントの実用化に向けた前段として、沖縄での利用に適した実証事業規模のCSSプラントが粟国村に設置され、現在民間企業が運営しており衣類やシロップなど、一部製品化もされています。



さとうきびの繊維を利用して作られた かりゆしウェア

結婚式の引き出物として採用されています。

村民牧場

村の資源でもあるソテツを残しながら、草地や畜舎が作られています。

■村民牧場は、粟国村の畜産振興のため次のことを行っています。

- ・優良メス子牛の供給
- ・粗飼料の供給
- ・堆肥の供給
- ・その他(技術の実証展示、担い手の育成、ヘルパー事業)



場所：粟国村字東地内(厚砂原、東厚砂原、西厚砂原、山床原)
面積：30ヘクタール
村民牧場内主要施設：草地、牛舎、乾燥庫、農具庫等

特産品加工センター

現在、この施設では「モチキビかりんとう」、「ようかん」を作っています。



場所：粟国村字東
粟国村離島振興総合センター隣接

特用林産物加工・貯蔵施設

ソテツの実を味噌に加工し、貯蔵するための施設です。



場所：粟国村字東
粟国村離島振興総合センター隣接

産業祭り

前身は肉用牛の共進会で平成5年から行われています。特産品の出展の他、優良農家表彰なども村の大きなイベントになっています。毎年10月上旬に行われています。



栗国漁港

近海は好漁場といわれながら、島は漁業が発達してきませんでした。この漁港構築で島の漁業の活性化が期待され、台風時の避難港にもなります。



場所：栗国村字浜勢山原地先
種別：第1種

●漁船保全修理施設



RC造平屋……………143m²
巻揚機……………8t型1基
走行クレーン……………1.5t型1基

●製氷施設



特産品 直売店 「とび吉」



場所：栗国村字浜431-3

美ら島あぐにクリーンセンター

現在の焼却施設構造基準に適合するように作られ、平成16年4月から稼動しています。

所在地……粟国村字西草戸原2334

敷地面積……1300m²

●主要設備概要

炉形式：機械化バッチ燃焼式焼却炉

処理能力：3t/8h×1炉

受入れ供給設備：ピット&クレーン方式

燃焼設備：ストーカ式焼却炉

燃焼ガス冷却設備：水噴射式

排ガス処理設備：ろ過式集塵方式

通風設備：平衡通風方式

灰出し設備：温式フライトコンベヤ及びバンカ方式

給水設備：上水及び雨水利用

排出処理設備：無法流方式



一般廃棄物最終処理場



場所……粟国村字西松尾原地内

埋立開始…平成11年

埋立容量…15,000立方

敷地面積…16,000平方

埋立方式…準好気性埋立

埋立面積…6,000平方

埋立工法…サンドイッチ工法

上水道

海水淡水化施設の稼動で天候等に左右されない安定した水質と水量を確保できるようになりました。

所在地……粟国村字浜南港原地内

海水淡水化施設……造水能力600t/日

供用開始……平成15年



下水道

衛生的な環境をつくることは、豊かな自然を維持することにつながります。資源化施設はこれから取り組まねばならない循環型のひとつです。

所在地……粟国村字浜港原地内

事業内容……管路設置、污水处理施設、資源化施設

※汚泥の肥料化もおこなっています。

供用開始……平成13年（資源化施設は平成15年完成）



粟国空港



第3種空港
滑走路
900m×25m

粟国空港は第3次空港整備5か年計画及び沖縄県振興開発計画に基づき、昭和51年12月に建設着手し、昭和53年7月開港。



粟国島灯台

- 灯質
明3秒、暗1秒
- 光度
実効光度 19000カンデラ
- 光達距離
15.5海里

※昭和53年2月20日業務開始

フェリー粟国



フェリー粟国

※所要時間/2時間

- 定員/270人
- 一日一往復



451t、主機関馬力2600×2、航海速力17.5、
旅客定員170名(最大270名)

お問い合わせ先

●粟国村役場船舶課
TEL.098-988-2495

●那覇船舶事務所(とまりん内)
TEL.098-862-5553

治安・消防・防災

治安

【那覇警察署粟国駐在所】

本村は那覇警察署管内に属し、警察官駐在所が設置されていて警察官1名で村の治安維持にあっている。



防災

【防災行政無線】

昭和58年に導入したこのシステムは、村民に対しての広報を流す固定系と、役場内での業務連絡用の移動系とで構成されている。固定系は、役場内の親局から電波を使って3箇所の子局へ放送する無線システムです。移動系は、村役場内の基地局無線装置と、携帯用無線機との相互通信ができる無線システムです。



消防

昭和47年5月15日に粟国村消防団として定員20名で結成されました。火災消火作業のほか台風時の災害対策や急患患者搬送も行っています。

消防団構成人数……………20名
消防車台数……………4台
救急車……………1台
消防格納庫……………1箇所
防火水槽……………村内3箇所
取水栓……………村内16箇所



防火水槽

電気・通信・郵便

電気

昭和38年7月に農山漁村電気導入促進法による粟国村発電事業が発電能力50KWで開始されました。

平成11年には「風車ハイブリッドシステム」が完成し、その最大出力は250KWで字西地区全体の電力をまかなうことができます。

現在は、1500KWと新エネの風車による250KWが発電能力となっています。



●沖縄電力粟国発電所



平成11年完成の風力発電

郵便

明治42年、那覇郵便局の粟国郵便取扱所として設置されました。昭和54年、ダイヤル式電話に切り替わるまでは、電話は郵便局で行われていた。



1960年の電話開通式。第一声は郵便局長の故末吉達幸氏

通信

昭和54年のダイヤル化に伴い、通信は郵便局から切り離されました。

平成12年にISDN、平成18年にはADSL化と通信格差は縮まっています。

また、携帯電話会社も「NTTドコモ」と「au」が使用可能な環境です。

医療・福祉・保健

栗国診療所

県立南部医療センター・子ども医療センター附属栗国診療所には、医師・看護師が各1名配置されています。



急患搬送

本村の医療設備が十分でないため、急患等が発生すると、陸上自衛隊の協力で患者をヘリで本島へ搬送しています。



写真提供:陸上自衛隊

保健師

平成9年からは、現行の保健師は市町村採用となっています。活動としては保健室において、乳幼児の予防接種や、健康相談を行ない、住民の健康推進の一翼を担っています。

ぎは歯科クリニック

村内には常設の歯科はありませんが、月に一度の定期診療が行なわれています。



住民検診

離島村である本村にとっては、経済的負担も大きいことから、年に一度行なわれる住民検診は非常に大切なものです。



特別養護老人ホームあぐに

平成10年2月に法人認可された社会福祉法人栗国福祉会により運営されています。



老人ホームの外観



内部の様子

栗国村社会福祉協議会

昭和47年5月1日に任意団体として発足。平成5年3月に法人認可、4月運営開始。



へき地保育所

核家族化や、夫婦共働き等もあって平成11年4月1日に開所しました。

●所在地:栗国村字東1088番地(離島振興総合センター内)



学校教育



学校全景

学校の歴史

- 明治31年 粟国尋常小学校(4年生)児童生徒35名で授業。
- 大正 5年 高等科設置、粟国尋常高等小学校となる。
- 昭和16年 粟国国民学校と改称。
- 昭和21年 粟国初等学校と改称。
- 昭和23年 学制改革で粟国初等学校、粟国中学校となる。
- 昭和47年 粟国村立粟国小学校、粟国中学校となる。
- 昭和48年 幼稚園開設。
- 平成10年 小学校創立100周年、中学校50周年記念式典。
- 平成20年 小学校創立110周年、中学校60周年記念式典。

※平成20年5月現在、幼稚園児：19名、児童：6学級50名、
中学校：4学級25名



戦後まもない頃の学校



水道資金贈呈式のために粟国小中学校校庭に着陸した
米軍ヘリコプター(1959年3月23日)

学校給食

粟国村立学校給食センター(総面積382m²)

●昭和56年、完全給食開始



公共施設状況調査からみる学校施設

- 幼稚園 ……延面積 180m²
- 小学校 ……延面積 1806m²
- 小学校屋内運動場 ……延面積 410m²
- 中学校 ……延面積 1798m²
- 中学校屋内運動場 ……延面積 830m²



運動場より望む体育館

社会教育

■中央公民館

村内の各種活動の拠点になっています。



●建築年度/昭和54年3月

●規模/敷地:816m²

建築面積:1階 172.24m²

2階 165.62m²

■ふるさと資料館

島で使われていた民具を中心に展示されています。



●中央公民館に隣接

●平成3年2月竣工:167m²



村長
新城 静 喜



副村長
伊 佐 文 宏



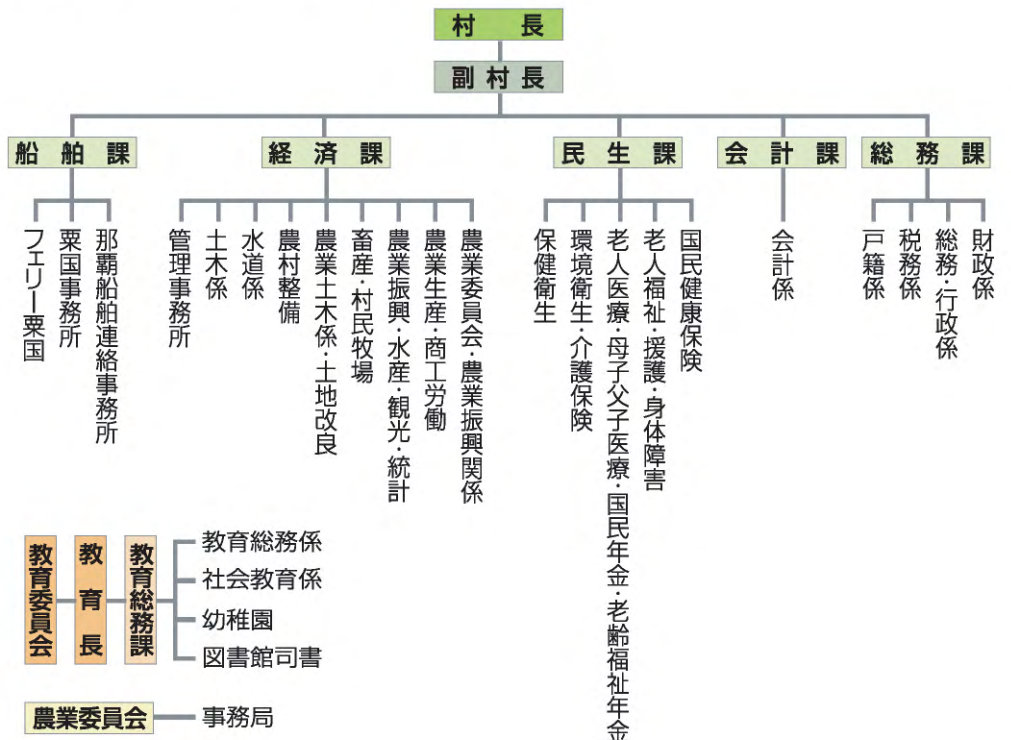
教育長
伊良皆 賢 哲

栗国村行政



栗国村役場全景 (1972建設)

栗国村行政機構図



議会



- 議員7名
- | | |
|---------------|----------------|
| 玉寄文雄 議長(前列中央) | 宮里昌典 副議長(前列左) |
| 山城雅雄 議員(前列右) | 宮里丞二 議員(後列左1) |
| 玉寄武 議員(後列左3) | 伊良皆信英 議員(後列左2) |
| 城間成弘 議員(後列右1) | |



議会映像装置



議会映像装置



議会音響装置



議会音響装置

議場内にある映像装置等により庁舎内モニターから議会の映像が配信されます。



議長
玉寄文雄



※議員の任期は平成22年9月27日まで



議場

村章・村木・村花・村花木・村歌

●村章



海を象徴する青地の中に栗国を象徴する頭文字「ア」を島の形態に合わせてデザインしている。その図は、栗国の3カ字に因んで三つの部分によって構成され、下辺の四辺形は村民の固い団結を表し、上方に広がる円弧は村の限りない発展を象徴している。

[昭和56年11月3日制定]

●村木



[フクギ]

オトギリソウ科の常緑高木、
原産地:台湾~フィリピン

選定理由

昔から防潮・防風林等の屋敷木として植栽され、フクギ並木は緑の村づくりを象徴

●村花



[テッポウユリ]

別名はリュウキュウユリ(琉球百合)、南西諸島の海岸の崖などに生えている。

選定理由

古くから村内の原野や浜辺に自生し、純白の内外3枚の花びらは村民の純粋な心と堅い団結心を表現し、その芳香は村の限りない発展を象徴する。

●村花木



[ソテツ]

ソテツ科の常緑小低木、原産地は日本、中国南部で雌雄異株

選定理由

戦前・戦後の食糧難の時、葉は燃料として実や芯は食材として、また雄花は肥料として飢餓から救ったソテツの恩恵に対し「生きる力」の象徴として「栗国村の花木」に値する。

●栗国村歌

栗国村歌 作詞 兼絃賀栄 作曲 中村 透

明るくいそいそと

まはなのさみのれいめいの

くろしおたかくうもよせで

きぼうあまをよぶとこら

しんせいのいきはつらつといざ奮いたつあ

ぐにそんほころうわれらごふ

るさとを

1. マハナの岬の れいめいの
黒潮高く うち寄せて
希望が朝を 呼ぶところ
新生の意気 はつらつと
いざ奮い立つ 栗国村
誇ろうわれらが ふるさとを
2. 輝く空よ 白浜よ
平和の息吹き みなぎりて
るり紺碧に 澄むところ
繁栄の歌 たからかに
いざ励みゆく 栗国村
伸ばそうわれらが ふるさとを
3. 歴史を偲ぶ ^{えーが ぐすく}八重川城
文化の光り 照り映えて
理想に燃えて ゆくところ
躍進の道 手をとって
いざ築きゆく 栗国村
仰ごうわれらが ふるさとを

資料編

粟国の歴史

地名について

島の名前はかつて粟が農産物の中心だったことに因んでいるといわれ、アワグニが後に転訛してアグニになったものだといわれています。

「歴代宝案」には垂哇群尼、「中山世譜」に阿姑尼、夏子陽の「使琉球録」には翁居里山、「琉球国志略」には安根岬山・安護仁、「海東諸国紀」に粟島とあります。また、ゴーヴィルの「琉球覚書」にはガンキニシャ (Gan-kini-chan)、バーニーの海図にはアグニユ (Agnnihu) とあります。

旧藩時代

1611年(慶長16年、尚寧王23年)番所が浜に設置され、初地頭代が任命される。

1712年(正徳2年、尚益3年)富村親雲上盛友が養蚕を指導し絹布を織る技術指導を行う。

1725年(享保10年、尚敬王13年)在番が置かれる。

1734年(享保19年、尚敬王22年)夫地頭が置かれる。

廃藩置県後～大正

1879年(明治12年)廃藩と同時に八重村は廃止し、新たに西村、東村が設置された。

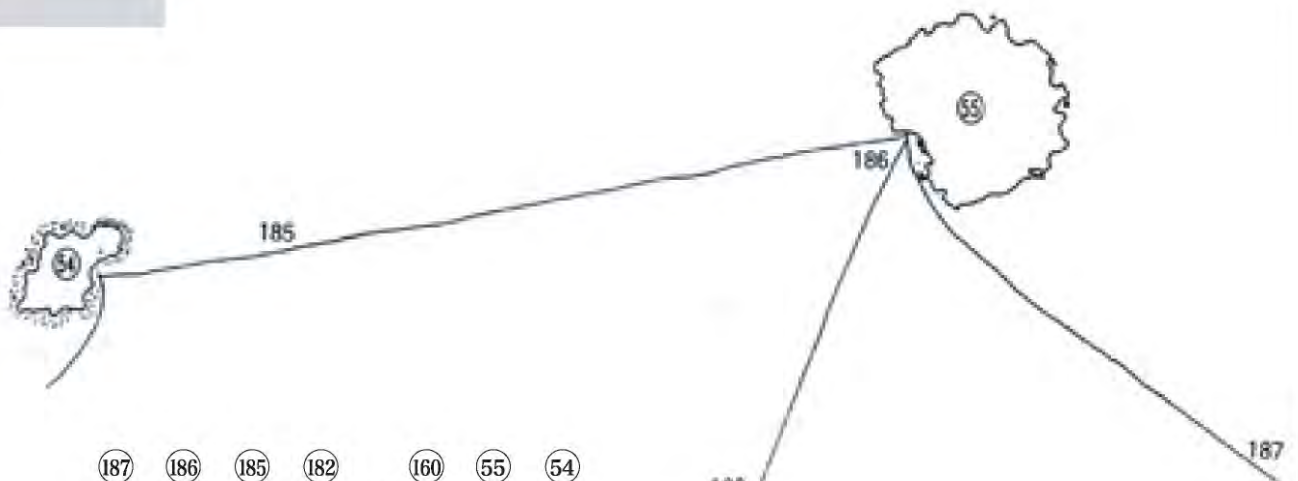
1882年(明治15年)久米島代官管轄から那覇所轄となる。

1896年(明治29年)沖縄郡制の編成で島尻郡役所の管轄におかれ島司に與那城菊太郎が任命される。

1898年(明治31年)粟国尋常小学校児童生徒35名で授業開始。

資料

182



①87 アス ヨリ イエ 粟嶋ヨリ伊恵嶋迄海上廿里寅卯之間ニ當ル

①86 船かゝり不成

①85 トナキ 戸無嶋ヨリ粟嶋迄海上八里子丑之間ニ當ル

①82 てそな嶋

①60 ヲキナハ 悪鬼納嶋之内那覇湊ヨリ粟嶋迄海上三拾里 亥子之間ニ當ル

⑤5 アス 粟嶋

⑤4 トナキ 戸無嶋

1644年(寛永21)12月に幕府から封国の地図の提出を命じられた薩摩藩は、鬼塚源太衛門らを派遣して調査を行い、1649年(慶安2)に「琉球城図」一帖と「琉球地図」「大島地図」「八重山島地図」各二帖、「琉球図田帳」「路程帳」各一冊を提出しています。

東京大学史料編纂所 所蔵

1899年(明治32年)地頭代職以下全員廃職となり、初代島長に與那城菊太郎が任命される。

1903年(明治36年)土地整理完了と同時に、西村、東村、浜村を廃止、区制施行され字西、字東、字浜と改称された。

1909年(明治41年)市町村制が布かれ栗国村となる。

1910年(明治42年)沖縄島嶼町村制施行と共に、初代村長に初代島長の與那城菊太郎が再任された。栗国郵便取扱所設置される。

1920年(大正9年)一般町村制が施行され、村長は初めて議会で選出される。字浜に置かれていた番所は字東に移され現在の役場になっている。

昭和

1945年(昭和20年)3月23日最初の空襲。6月9日米軍上陸。



1946年(昭和21年)4月1日軍政府任命村長に末吉達幸氏が就任、7月1日村政委員12名選出。

1948年(昭和23年)2月地方自治法の施行に伴い2月1日村長選挙、2月8日村議会議員選挙。

1963年(昭和38年)7月農産漁村電気導入促進法により発電能力50KWで事業開始

1978年(昭和53年)2月栗国島灯台業務開始。7月栗国空港開港。

1979年(昭和54年)電話ダイヤル化

1983年(昭和58年)防災行政無線導入

平成

2000年(平成12年)電話回線ISDN化

2001年(平成13年)海水淡水化施設(日量600t)完成

2004年(平成16年)焼却施設[美ら島あぐにクリーンセンター]稼働

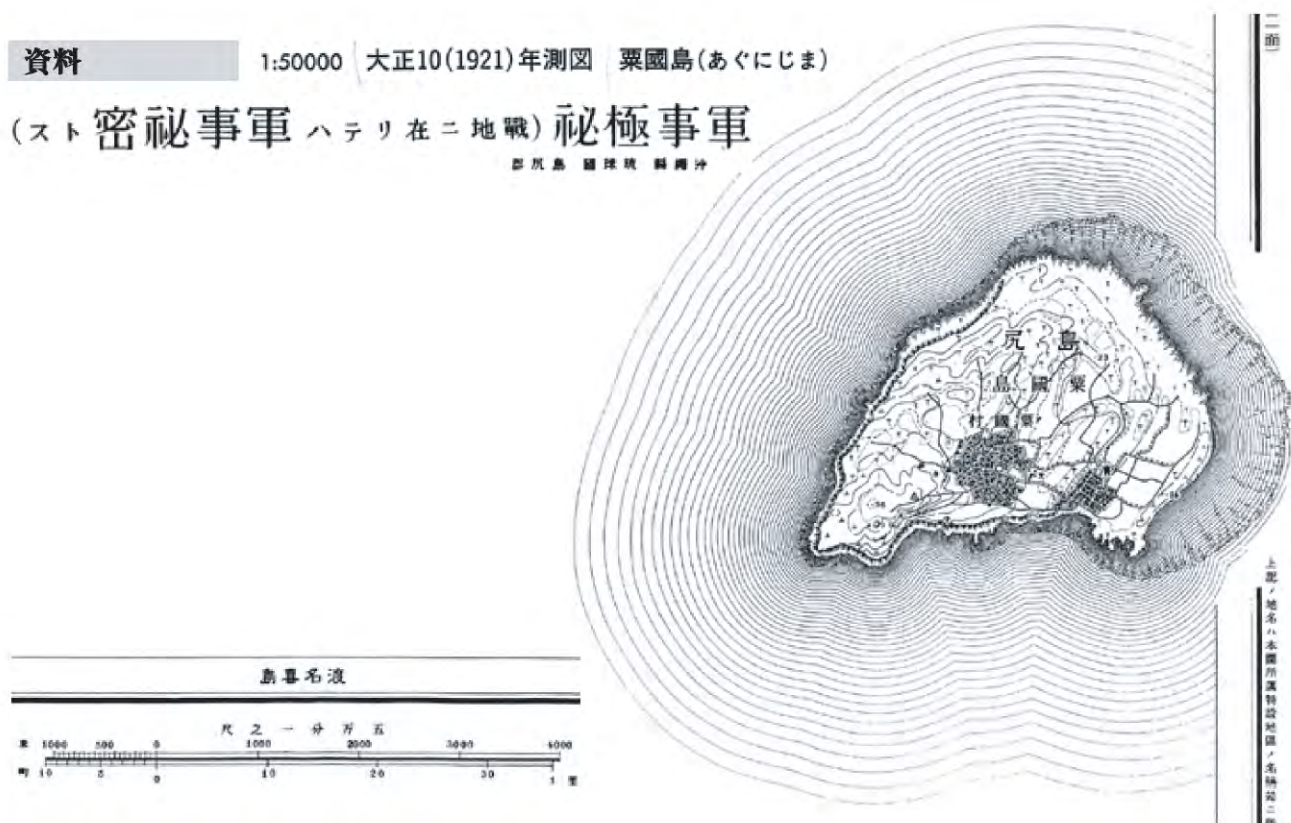
2006年(平成18年)電話回線ADSL化

※一部角川日本地名大辞典より引用

資料 1:50000 大正10(1921)年測図 栗国島(あぐにじま)

(スト 密秘事軍 ハテリ在ニ地戦) 秘極事軍

栗国島 國陸境 國陸沖

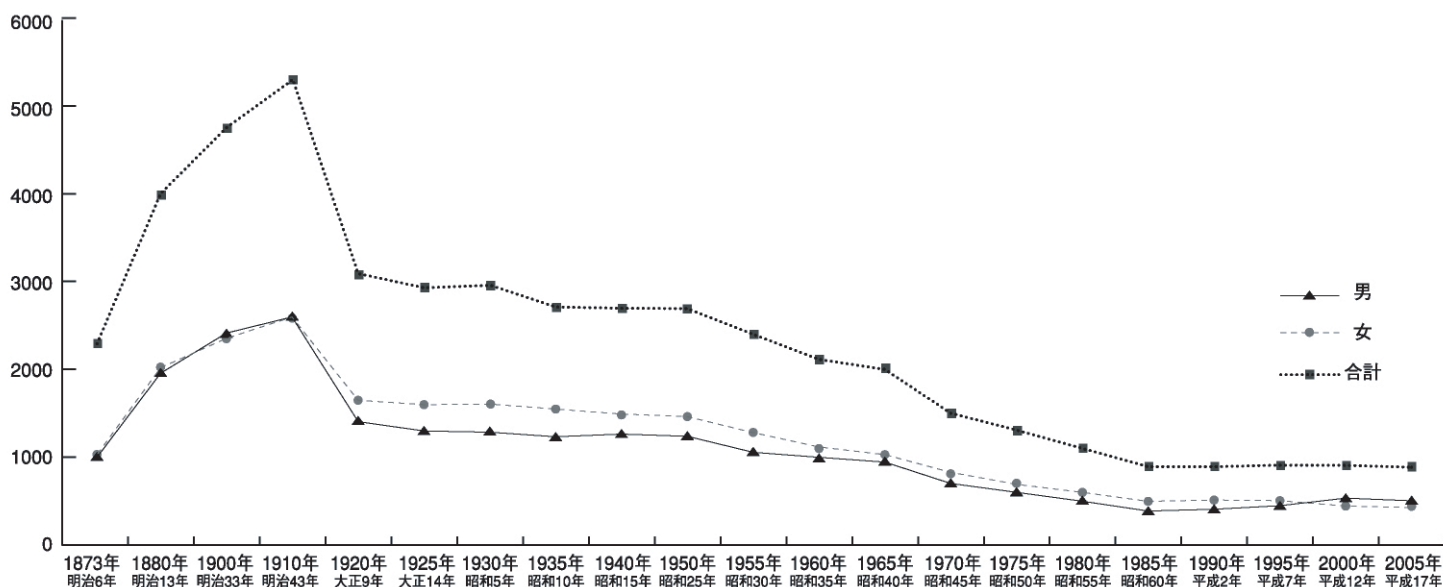


人口と世帯数推移

調査年	男	女	合計	世帯数	備考
1873年(明治6年)	1,014	1,023	2,037	260	大蔵省調べ
1880年(明治13年)	1,945	2,046	3,991	741	沖縄県統計
1900年(明治33年)	2,392	2,358	4,750	742	沖縄県統計
1910年(明治43年)	2,651	2,641	5,292	748	沖縄県統計
1920年(大正9年)	1,440	1,676	3,116	710	国勢調査
1925年(大正14年)	1,346	1,605	2,951	715	国勢調査
1930年(昭和5年)	1,369	1,610	2,979	718	国勢調査
1935年(昭和10年)	1,234	1,540	2,774	704	国勢調査
1940年(昭和15年)	1,270	1,498	2,768	677	国勢調査
1950年(昭和25年)	1,250	1,488	2,738	687	国勢調査
1955年(昭和30年)	1,067	1,325	2,392	609	国勢調査
1960年(昭和35年)	997	1,128	2,125	561	国勢調査
1965年(昭和40年)	957	1,054	2,011	528	国勢調査
1970年(昭和45年)	697	825	1,522	466	国勢調査
1975年(昭和50年)	586	694	1,280	430	国勢調査
1980年(昭和55年)	495	591	1,086	405	国勢調査
1985年(昭和60年)	426	504	930	398	国勢調査
1990年(平成2年)	442	488	930	393	国勢調査
1995年(平成7年)	478	490	968	403	国勢調査
2000年(平成12年)	509	451	960	475	国勢調査
2005年(平成17年)	494	442	936	414	国勢調査

●粟国島男女人口推移

(人)

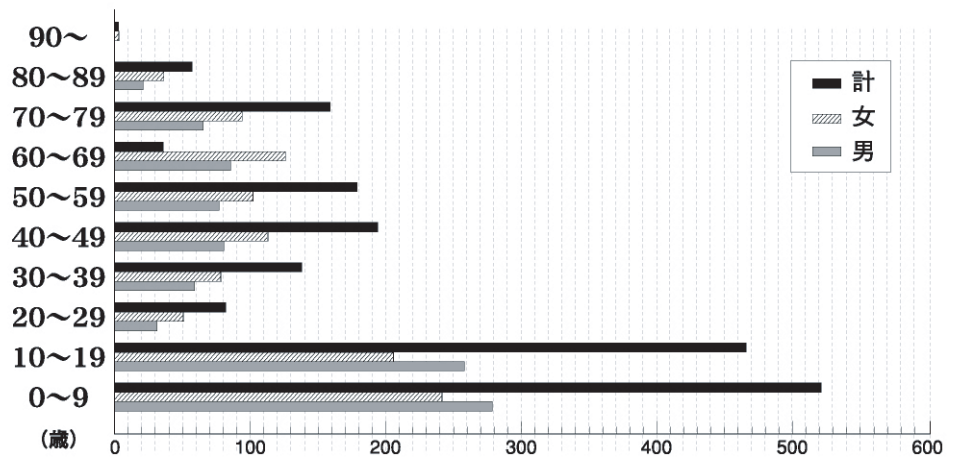


	人 口	年少人口割合	高齢化率	世帯数	就 業 人 口		
					第1次(比率%)	第2次(比率%)	第3次(比率%)
昭和40年	2011	42.1%	16.8%	528	818人(87.8%)	22人(2.3%)	92人(9.9%)
昭和60年	930	21.7%	31.5%	398	212人(53.7%)	39人(9.9%)	144人(36.4%)
平成17年	936	15.7%	34.6%	414	37人(11.1%)	70人(21.1%)	225人(67.8%)

年齢構成

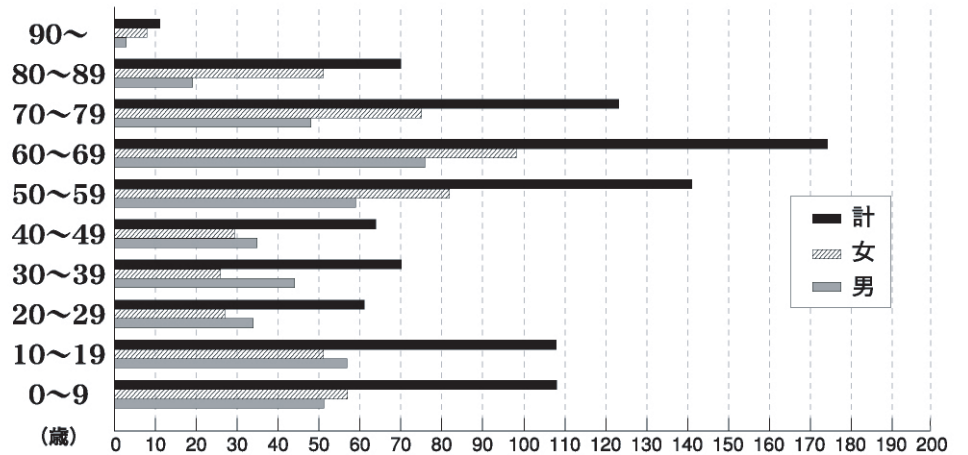
昭和40年

	男	女	計
90~	0	3	3
80~89	21	36	57
70~79	65	94	159
60~69	85	126	211
50~59	77	102	179
40~49	81	113	194
30~39	59	79	138
20~29	31	51	82
10~19	258	208	466
0~9	280	242	522
合計	957	1054	2011



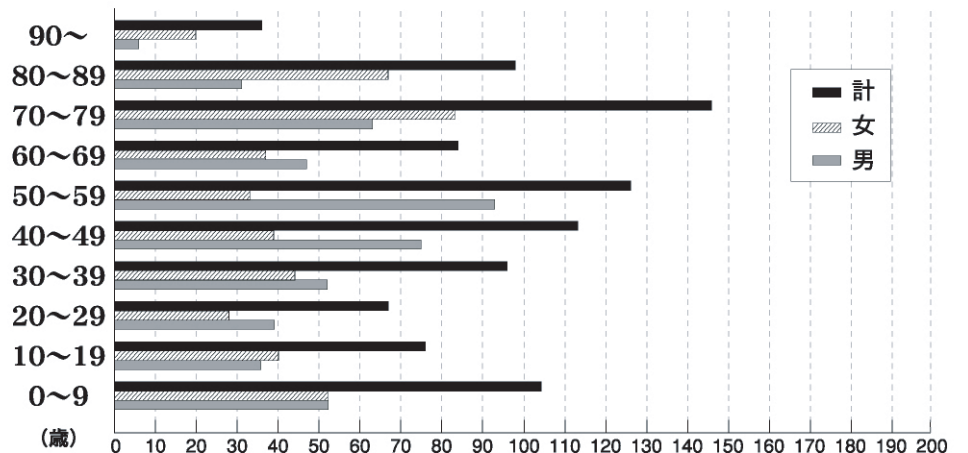
昭和60年

	男	女	計
90~	3	8	11
80~89	19	51	70
70~79	48	75	123
60~69	76	98	174
50~59	59	82	141
40~49	35	29	64
30~39	44	26	70
20~29	34	27	61
10~19	57	51	108
0~9	51	57	108
合計	426	504	930



平成17年

	男	女	計
90~	6	20	26
80~89	31	67	98
70~79	63	83	146
60~69	47	37	84
50~59	93	33	126
40~49	75	38	113
30~39	52	44	96
20~29	39	28	67
10~19	36	40	76
0~9	52	52	104
合計	494	442	936



財政

1 決算収支

単位:百万円

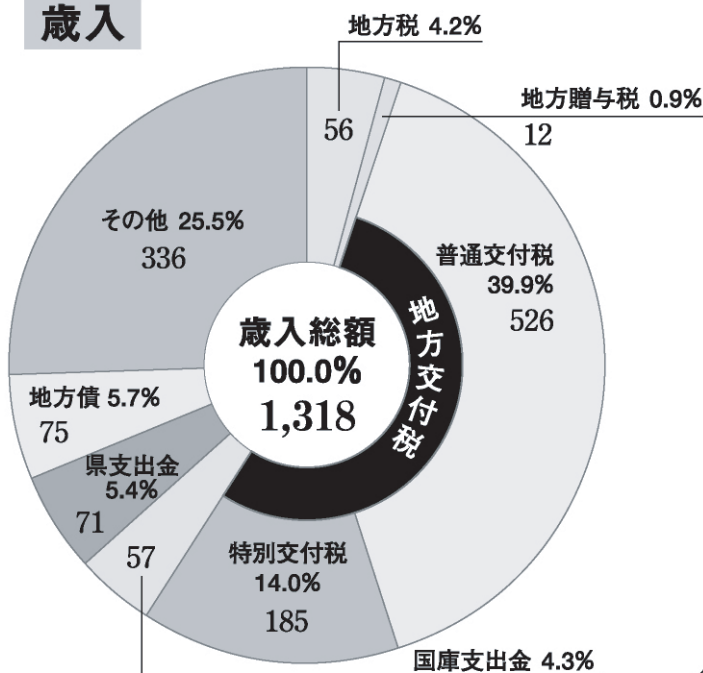
区 分	歳入総額	歳出総額	形式収支	実 質 収 支		積 立 金	積み立て 取り崩し	実質単年度 収 支
					比率(%)			
平成 9年	2,425	2,297	128	126	16.5	0	59	△23
平成10年	2,708	2,537	171	147	19.7	0	47	△26
平成11年	2,249	2,098	151	145	19.7	30	0	28
平成12年	1,894	1,759	135	126	16.8	38	0	19
平成13年	1,821	1,672	149	148	21.2	50	108	△36
平成14年	1,960	1,769	190	141	21.9	86	0	157
平成15年	1,948	1,867	80	80	13.1	27	0	0
平成16年	1,419	1,297	122	119	20.4	112	144	7
平成17年	1,244	1,155	89	89	15.2	132	103	△1
平成18年	1,186	1,069	117	117	19.9	72	107	△7
平成19年	1,318	1,238	80	80	12.6	148	100	11

2 主要指標

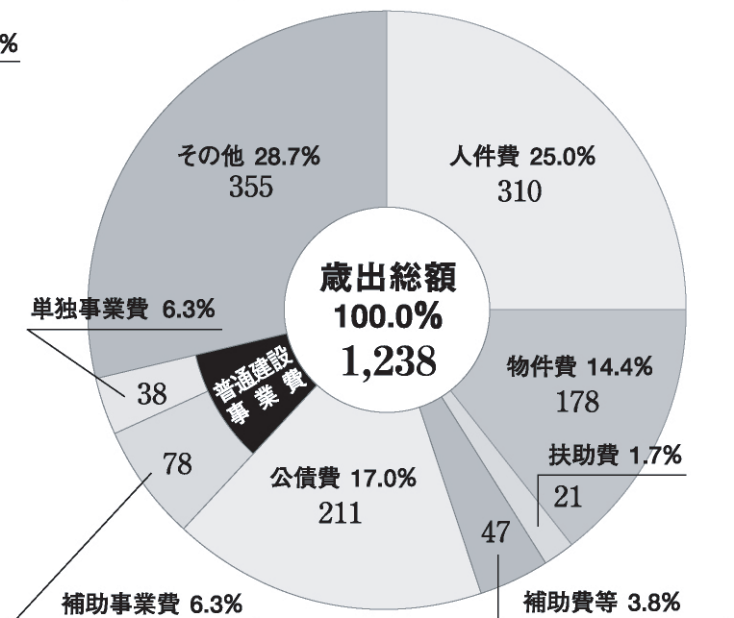
区 分	財政力指数	経常収支比率	公債費比率	起債制限比率	税 徴 収 率	税 徴 収 率	
						(現)	(過)
平成 9年	0.052	78.7	6.6	5.3	87.7	95.9	19.5
平成10年	0.056	84.6	7.9	5.7	90.9	98.2	41.0
平成11年	0.062	87.6	10.5	7.0	92.3	97.7	32.9
平成12年	0.069	85.3	13.2	9.1	93.3	97.7	17.6
平成13年	0.076	90.5	16.1	11.4	93.5	97.5	34.5
平成14年	0.083	93.2	18.3	13.4	92.9	97.5	26.0
平成15年	0.089	94.7	17.3	14.1	93.6	97.4	40.8
平成16年	0.096	97.9	17.5	14.2	91.0	96.5	14.7
平成17年	0.102	98.3	16.8	14.1	90.5	96.5	30.1
平成18年	0.108	98.9	16.0	13.3	90.5	96.9	29.2
平成19年		98.9	17.5	13.0	91.0	96.8	32.2

3 歳入歳出の状況(平成19年度/百万円)

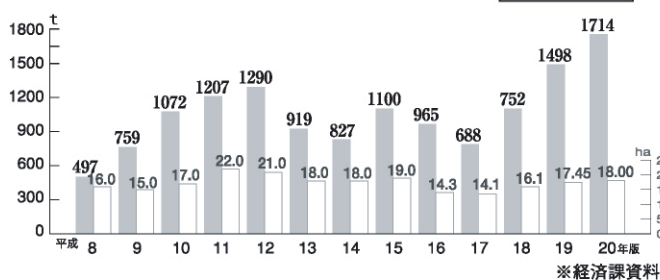
歳入



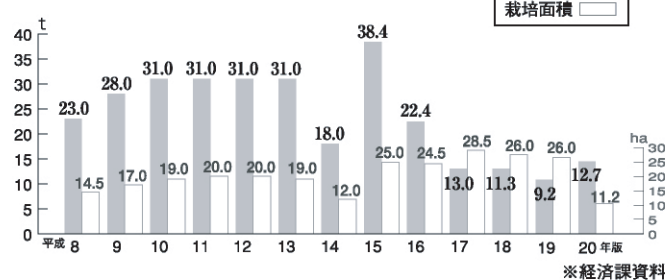
歳出



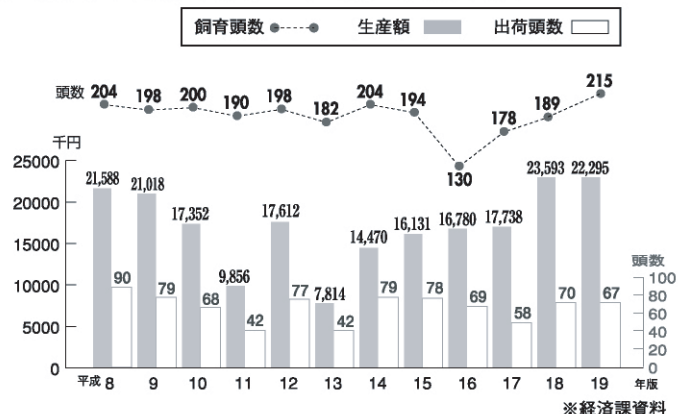
① サトウキビ収穫量／栽培面積



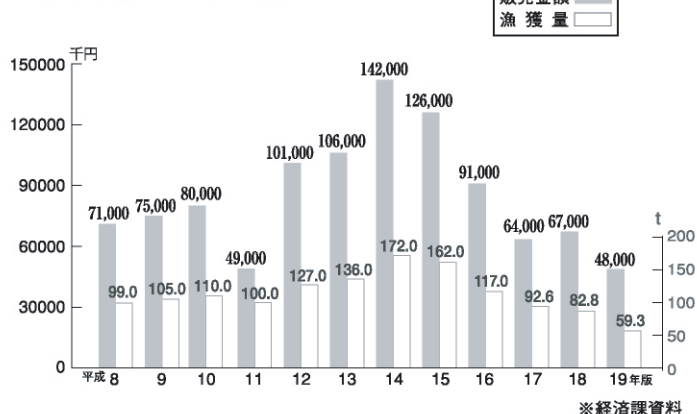
② モチキビ収穫量／栽培面積



③ 肉用牛飼育頭数／生産額／出荷頭数



④ 水産販売金額／漁獲量



2005 農林業センサス

⑤ 農業経営対数

法人	地方公共団体	個人
1	2	63

⑥ 耕地面積規模別

0.3畝未満	0.3~0.5	0.5~1.0	1.0~1.5	1.5~2.0	2.0~3.0	3.0~5.0	5.0~10.0	10.0~20.0	20.0~30.0
21	17	11	5	3	4	1	3	0	1

⑦ 農産物販売規模別

販売なし	50万円未満	50~100	100~200	200~300	300~500
31	17	7	6	1	4

2005 漁業センサス

⑧ 漁船隻数・動力総トン数規模別隻数及び漁業種別就業者数

地域名称	漁操船隻数	無動力船隻数	船外機付船隻数	動力船隻数					計	総トン数	総馬力数	沿岸漁業従事者数
				1未満	1~3	3~5	5~10					
粟国村	31	—	—	3	19	5	1	28	64.35	1068	29	

⑨ 漁業金額別

地域名称	30万円未満	30~50	150~100	100~200	200~500
粟国村	2	—	—	4	22

⑩ 年齢別漁業就業者数

地域名称	30~39歳	40~49	50~59	60~69	70歳以上
粟国村	3	6	6	4	9

※いずれも男性

エコファーマー認定者数……22名 内訳／モチキビ…21名 島ラッキョウ…5名(タマネギ…5名複数栽培含む)

交通

① フェリー粟国利用状況

区分	旅客数	車両航送台数(台)	貨物量(t)	郵便量(個)	運航回数
平成 8年度	7,954.5	1,358	3,871.0	547	124
平成 9年度	13,711.0	1,792	6,848.0	879	157
平成 10年度	18,280.0	2,565	8,251.5	1,937	231
平成 11年度	21,151.3	2,934	8,023.4	5,421	287
平成 12年度	21,834.0	2,291	7,238.8	5,919	276
平成 13年度	23,099.0	2,360	7,846.0	6,877	286
平成 14年度	24,199.0	2,520	8,407.0	6,734	286
平成 15年度	31,796.0	2,733	7,699.0	5,378	299
平成 16年度	30,838.0	2,804	7,135.0	7,552	300
平成 17年度	30,062.0	2,537	7,086.0	7,529	295
平成 18年度	20,776.0	2,095	2,465.0	7,831	344
平成 19年度	17,470.0	2,045	2,443.0	8,811	347
平成 20年度	18,382.0	2,337	2,408.8	8,154	345

※船舶課資料 ※平成14年度は旧船と新船の合算

② 粟国空港利用状況

区分	乗客数	降客数	計	貨物積卸量(t)	郵便物積卸量(kg)	全機種着陸回数
平成 8年度	14,148	13,809	27,957	45	64,503	1,803
平成 9年度	15,446	14,901	30,347	46	85,783	1,859
平成 10年度	16,524	16,078	32,602	54	86,026	2,009
平成 11年度	15,685	15,152	30,837	50	67,989	2,027
平成 12年度	14,012	13,473	27,485	46	64,432	2,445
平成 13年度	13,973	13,632	27,605	43	57,812	2,505
平成 14年度	10,893	11,034	21,927	34	56,434	2,118
平成 15年度	9,371	9,307	18,678	25	48,338	1,812
平成 16年度	8,513	8,583	17,096	22	49,095	1,671
平成 17年度	6,735	7,022	13,757	17	34,328	1,294
平成 18年度	5,737	5,948	11,685	15	32,956	1,138
平成 19年度	5,187	5,338	10,525	16	30,448	1,131
平成 20年度	5,359	5,551	10,910	32	19,183	1,078

※資料:沖縄県空港課資料

村営住宅一覧

名称	所在	竣工年月	世帯数
東第1団地	粟国村字東34	平成 7年 6月	2
東第2団地	粟国村字東1916、1917	平成 7年 6月	2
東第3団地	粟国村字東219	平成 11年 3月	2
浜第1団地	粟国村字浜431-1	平成 8年 3月	2
浜第2団地	粟国村字浜130	平成 12年 5月	4
巢飼団地	粟国村字西255	平成 11年 4月	4
西第1団地	粟国村字西215	平成 13年 3月	4

水道給水量

 単位:m³

区 分	年間取水率	年間浄水量	年間有収水量	無収水量	無効水量
平成12年度	158,337	109,260	101,015	0	8,245
平成13年度	170,934	110,483	90,101	11,950	8,432
平成14年度	144,620	100,673	86,042	8,499	6,132
平成15年度	140,570	98,399	87,065	6,675	4,659
平成16年度	172,618	99,940	858,446	5,274	4,220
平成17年度	182,983	100,641	83,122	6,774	5,543
平成18年度	240,930	96,372	82,436	0	13,936
平成19年度	232,475	89,444	80,502	0	8,942
平成20年度					

※上水道普及率は100% ※水道統計

道路

道路現況

単位:m

		1 級	2 級	その他級	
総 延 長		38,303	2,672	6,986	
重用延長		308		26	
実 延 長		37,995	2,672	6,960	
道 路 面 積	道路数	140,430	17,668	32,781	
	道路部	125,455	14,968	30,683	
	車 道	87,105	12,137	23,199	
歩道等設置道路延長		49		0	
規格改良・ 未改良別 車道幅員 区分別 実延長内訳	規格改良済	車道5.5m以上	36	37	
		車道5.5m以上	17,110	2,370	5,416
	未改良	車道5.5m以上	27	0	0
		車道5.5m以上	2,850	266	922
		車道5.5m以上	18,008	0	585
		うち自動車交通不能区間	3,632	0	0
路 線 数		93	2	8	
路 面 別 実延長内訳	未舗装	15,725	0	889	
	セメント系	17,867	170	2,502	
	アスファルト系高級	2,842	2,236	2,517	
	アスファルト系簡易	1,561	266	1,052	
橋 梁	箇所数	2	1	1	
	延 長	6	4	3	

 ※国土交通省道路局 道路施設現況調査
 ※平成19年度4月1日現在

商業

商業統計調査

事業所数			従事者数			年間商品販売額(万円)		
平成16年	平成19年	増減(%)	平成16年	平成19年	増減(%)	平成16年	平成19年	増減(%)
10	10	0	23	20	▲13	17,231	12,285	▲28.7

※平成19年商業統計調査

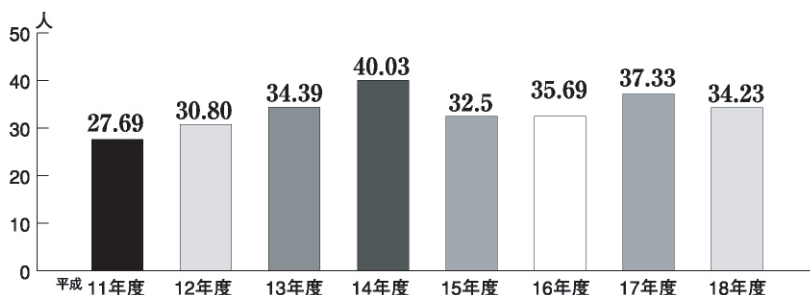
医療・福祉

1 医療費

区分	被保険者		1人当たり医療費 (円)	保険税調定額 (千円)	1人当たり負担額 (円)
	世帯数	人員(人)			
平成14年	295	533	321,114	12,326	23,127
平成15年	283	506	441,950	12,777	25,251
平成16年	279	495	391,497	11,646	23,528
平成17年	263	493	420,344	10,575	24,736
平成18年	290	490	494,502	10,580	25,171
平成19年	283	480	454,907	9,645	20,093

※1人当たり医療費＝全体費用額÷被保険者数 ※おきなわ国保マップ参照

2 人口千人当たり生活保護率



※沖縄県市町村概要

歴代三役・議長

■歴代村長

代	氏名	就任	退任
初	與那城 菊太郎	明治29年 4月	大正 3年 3月 3日
2	上原 次郎	大正 4年 4月	大正13年 6月
3	〃		
4	浜川 信吉	大正13年10月	昭和 3年10月
5	友利 仁三郎	昭和 3年11月	昭和 6年 3月
6	宮里 治昌	昭和 6年 3月	昭和10年 3月
7	浜川 栄久	昭和10年 7月	昭和14年 3月
8	仲里 秀雄	昭和14年 5月	昭和16年 2月
9	末吉 達幸	昭和17年 2月	昭和21年 7月
10	仲里 秀雄	昭和21年 7月	昭和23年 2月
11	上江洲 宏	昭和23年 3月	昭和24年 5月
12	安里 雄好	昭和24年 5月	昭和25年 8月
13	與儀 俊夫	昭和26年 3月	昭和27年 5月
14	仲里 剛	昭和27年 6月	昭和43年 7月31日
17	〃		
18	新城 実	昭和43年 8月 1日	昭和55年 7月31日
20	〃		
21	城間 善功	昭和55年 8月 1日	昭和59年 7月31日
22	新城 善功	昭和59年 8月 1日	昭和63年 7月31日
23	城間 善功	昭和63年 8月 1日	平成 4年 7月31日
24	新里 政雄	平成 4年 8月 1日	平成16年 7月31日
26	〃		
27	上江洲 誠吉	平成16年 8月 1日	平成20年 7月31日
28	新城 静喜	平成20年 8月 1日	現在に至る

■歴代助役

代	氏名	就任	退任
初	具志堅 代三	不祥	
2	〃	不詳	
3	小嶺 良雄	大正 9年 5月	大正13年 4月
4	崎山 嗣成	大正13年10月	昭和 7年 4月
5	福本 武治	昭和 6年 5月	
6	浜川 栄久	昭和 7年 3月	
7	仲里 秀雄	昭和10年 9月	昭和14年 5月
8	末吉 達幸	昭和14年 5月	昭和17年
9	安里 雄好	昭和21年 8月	昭和23年 3月
10	〃	昭和23年 4月	昭和24年 3月
11	与那嶺 昌俊	昭和24年 4月	昭和25年 7月
12	金城 栄一	昭和25年 8月	昭和26年 7月
13	上江洲 宏	昭和26年 8月	昭和27年 5月
14	新里 朝良	昭和27年 8月	昭和31年 9月
15	新城 実	昭和31年10月	
17	〃		昭和43年 7月31日
18	宮里 平堂	昭和43年 8月10日	
20	〃		昭和55年 8月 9日
21	上地 幸雄	昭和55年 8月13日	昭和59年 7月24日
22	伊良皆 晋	昭和59年 8月 9日	昭和63年 8月 8日
23	新里 政雄	昭和63年12月21日	平成 4年 2月29日
24	城間 志啓	平成 7年 8月 1日	平成11年 3月31日
25	〃	平成11年 4月 1日	平成15年 3月31日

■歴代収入役

代	氏名	就任	退任
初	小嶺 近吉	不祥	
2	伊良皆 得徳	不詳	
3	上原 朝栄	大正 5年 8月	大正 8年11月
4	浜川 栄久	大正 8年12月	大正13年10月
5	新里 栄文	大正13年12月	昭和 2年 5月
6	仲里 秀雄	昭和 4年 2月	昭和10年 7月
7	〃		
8	長浜 栄秀	昭和10年 7月	昭和14年 6月
9	仲里 善栄	昭和14年 7月	昭和23年 2月
11	〃		
12	末吉 保雄	昭和23年 3月	昭和24年 5月
13	仲里 景剛	昭和24年 5月	昭和25年 8月
14	宮里 景義	昭和26年 5月	
15	宮里 平堂	昭和27年11月	
16	末吉 善藏	昭和31年12月	
18	〃		
19	上地 幸雄	昭和46年 2月 1日	昭和50年 1月31日
20	〃	昭和50年 2月 1日	昭和54年 1月31日
21	〃	昭和54年 2月 1日	昭和55年 8月12日
22	照喜名 廣光	昭和55年 8月13日	昭和59年 8月12日
23	〃	昭和59年 8月13日	昭和63年 6月27日
24	上地 幸雄	昭和63年 8月 6日	平成 4年 8月 5日
25	〃	平成 4年11月 2日	平成 8年11月 1日
26	〃	平成 8年11月 8日	平成12年11月 7日
27	宮里 丞二	平成12年12月18日	平成16年12月17日

■歴代副村長

代	氏名	就任	退任
初	伊佐 文宏	平成20年 8月 1日	現在に至る

■歴代議長

代	氏名	就任	退任
初	新垣 信光	昭和23年 3月	昭和24年 9月
2	宮里 和明	昭和24年10月	昭和25年 9月
3	屋宜 宗栄	昭和25年 9月	昭和29年 9月
4	小嶺 辰寿	昭和29年 9月	昭和33年 9月
5	新里 栄太郎	昭和33年 9月	昭和35年 8月
6	與那 盛幸	昭和35年 8月	昭和37年 9月
7	小嶺 健二郎	昭和37年 9月	昭和41年 9月
8	玉寄 栄一	昭和41年 9月	昭和45年 9月
9	〃	昭和45年 9月	昭和49年 9月
10	安里 武蒸	昭和49年 9月	昭和53年 9月
11	玉寄 栄一	昭和53年 9月	昭和57年 9月
12	〃	昭和57年 9月	昭和61年 9月
13	末吉 信輝	昭和61年 9月	平成 2年 9月
14	玉寄 栄一	平成 2年 9月	平成 4年10月
15	山城 栄孝	平成 4年10月	平成 6年 9月
16	〃	平成 6年 9月	平成10年 9月
17	上江洲 誠吉	平成10年 9月	平成14年 9月
18	末吉 信輝	平成14年 9月	平成18年 9月
19	玉寄 文雄	平成18年 9月	現在に至る



粟国村役場

〒901-3792 沖縄県島尻郡粟国村字東367番地
TEL.098-988-2016 FAX.098-988-2206

総務課	TEL.098-988-2016	FAX.098-988-2206
会計課	TEL.098-988-2016	FAX.098-988-2206
民生課	TEL.098-988-2017	FAX.098-988-2206
経済課	TEL.098-988-2258	FAX.098-988-2464
〃	TEL.098-988-2033	FAX.098-988-2464
船舶課	TEL.098-988-2495	FAX.098-988-2512
那覇船舶連絡事務所	■ 那覇市泊3丁目25番1号 とまりん1階	TEL.098-862-5553 FAX.098-866-6847
議会事務局	■ 粟国村字東367番地	TEL.098-988-2222 FAX.098-988-2281
教育委員会	■ 粟国村字東580番地	TEL.098-988-2449 FAX.098-988-2351

www.vill.aguni.okinawa.jp